

(別紙様式3)

令和元年度学校評価(年間評価)

学校名 大分県立竹田高等学校

前年度評価結果の概要	<p>○地域の高校活性化支援事業を活用し、地域と連携した探究的な学び等を推進することで、進路実現力(進学力・就職力)を涵養することができた。</p> <p>○職員の危機管理意識をさらに高め、健康・安全管理の指導を徹底し、部活動等の安全対策や不登校傾向にある生徒の支援体制づくりを進めることができた。</p> <p>○全国各地から優れた外部講師を招聘した公開授業や授業研究会等の実施とともに教科会議の充実を図ることで、組織的な授業改善への取組を推進することができた。</p> <p>■幅広い学力層の生徒の実態に合わせた「自律的学習者(生涯にわたって学び続ける生徒)の育成」を目指し、生徒の進路意識をさらに高める指導を工夫し、多様な進路希望の実現を図る必要がある。</p> <p>■「数値化できる(教科)学力」を下支えする「数値化できない学力(非認知能力)」「想像力、忍耐力、やり抜く力、レジリエンス、自己肯定感、逆境に挑む力等」を育成するという共通認識を全教職員でもつ必要がある。</p>
------------	---

学校教育目標	中期目標	重点目標
<p>◎「自律自尊」・「進取研鑽」・「和衷協同」の校訓のもと、生徒一人ひとりを大切に、安全・安心な教育環境を整え、知性・感性教育の充実に努め、グローバルな視点を持ち地域を支える人材を育成する。</p>	<p>○ 主体性を持って多様な人々と協働して学び、自分の意見を持ち行動できる力を育成する。</p> <p>○ 生徒の健康と安全を徹底し、規範意識を養い、基本的な生活習慣を確立する。</p> <p>○ 特別活動や体験活動及び人権・同和教育等を充実し、思いやりの心、豊かな心を育む。</p> <p>○ 地域と共にあり、地域に信頼され、地域から選ばれる学校づくりを推進する。</p>	<p>○ 基礎・基本の理解及び新学習指導要領・新大学入試に対応した学習・進路指導の充実</p> <p>○ 安全・安心な教育環境整備、人権・同和教育等の充実による豊かな心の育成</p> <p>○ 保護者・地域との連携強化による学校の魅力度アップ</p>

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL	自己評価結果		次年度の改善策	学校関係者評価
					評価	分析・考察		
○基礎・基本の理解及び新学習指導要領・新大学入試に対応した学習・進路指導の充実	○生徒満足度及び授業満足度95%超 ○進路志望達成率100% ○外部模試及びセンター試験「超平均」	○授業改善、授業力の向上	<p>○年2回の授業アンケートを行い、肯定的回答を0.2ポイント以上アップさせる。</p> <p>○研究授業は各教科年3回期日を決めて実施。年度当初の早い時期に年間の計画を立て、教科会議で進捗状況を確認しながら、より充実したものにしていく。</p> <p>○ICTを活用した授業を推進し、すべての教員が学期に1回以上は取組を行う。</p>	PL: 教務主任 SL: 進路指導主任、学年主任	3	<p>○授業アンケートは計画通り実施完了。アンケートの8項目の平均値は7月が3.60、12月は3.62と0.02ポイントの微増であった。</p> <p>○今年度は「『新しい学び』深化プロジェクト」に係る研究授業、「中高の学びをつなぐ連絡協議会」に係る研究授業、「タブレット端末・電子黒板等整備に係る公開授業など、多くの事業に連携し、講師を招いての提案授業を受け、時間をおいて本校教員の研究授業を実施した。授業改善に極めて有効な取り組みであったが、事業が集中した結果、特定の先生、人数の少ない教科への負担が大きくなった。</p> <p>○タブレット端末を活用した授業を実施している職員は86%と多いが、生徒用タブレット端末を用いた授業実施は48%とまだ十分ではない。</p>	<p>○授業アンケートの回答では、生徒は「グループ学習の楽しさ」に言及することが多かったが、それが個の学力の向上に直結しているとは必ずしも言えない状況がある。授業での個の振り返りを確認する評価基準を重視した授業を実施する。</p> <p>○次年度も授業改善に向けて各教科年3回の研究授業・提案授業を実施するが、今年度の反省を踏まえ、教科人員の少ない教科への負担は考慮する。</p> <p>○生徒用タブレット端末を活用した授業の割合を増加させるために、職員研修を実施する。</p>	<p>○生徒の学力差がある状況の中、「なぜ勉強するのか」をしっかりと理解させてほしい。</p> <p>○予習→授業→復習という最も基本的な学習のサイクルを確立させてほしい。</p> <p>○「自己表現のできる」生徒の育成を引き続きお願いしたい。</p> <p>○電子黒板やタブレット端末等を使用した先進的な授業の取組は高く評価できる。個々の生徒の理解度をしっかりと把握し、学習効果の検証を継続してほしい。</p>
		○キャリア教育の充実	<p>進路指導指針に基づき、以下の行事を計画的に行い、生徒満足度アンケートの進路指導に関する項目が90%を超える。</p> <p>○「進路指導指針」を活用し職業人講話(1年)、夢ナビライブ福岡参加(1、2年)、進学ガイダンス(2、3年)、オープンキャンパス参加(1、2年生中心)、小論文講演会、面接講演会(3年)を実施する。</p> <p>○年度末に「入試結果総括」を行い、次年度に引き継ぐ。</p> <p>○「総合的な探究の時間」を充実させ、目標を設定し、自主的に学ぶ態度を育てる。</p>	PL: 進路指導主任 SL: 教務主任、学年主任	3	<p>○進路行事はほぼ計画的に実施できたが、学校満足度生徒アンケートの進路指導に関する満足度が87%だった。</p> <p>○夢ナビライブはラグビーワールドカップの関係で実施できなかったが、夢ナビ講義動画を夏季課題とすることで代替できた。</p> <p>○総合的な探究の時間を活用し、地域探究TCP等を実施し、複数班構成のもと自主的な目標設定が行えた。</p> <p>○11月にe-ポートフォリオ説明会(1、2年生)を実施・導入した。</p>	<p>○進路HRAを年間行事に組み込むことで生徒に進路意識を持たせる回数を増やす。</p> <p>○進路行事とe-ポートフォリオを組み合わせでキャリア教育の充実を図る。</p> <p>○総合的な探究の時間を各学年の実態に即した取り組みとするため、スタディーサポートのアンケート結果等を活用検討する。</p>	<p>○1年生の「地域探究活動」の成果をもっと地域や行政に提言という形で発信してほしい。</p> <p>○グローバルリーダー育成塾やOSS等に参加することで、それぞれの個性が伸ばされ、将来の展望が開けている。</p> <p>○e-ポートフォリオ等の新しい取組の成果に期待している。</p> <p>○多くの取組を各学年に効果的に配列している。</p>
		○3年間を見通した学習・進路指導	<p>進路指導指針に基づき、以下の取り組みを計画的に行い、継続性のある進路指導を実行する。</p> <p>○各学年の模試分析会、推薦・AO入試研究会(1学期)、出願校検討会議(年間3回)を実施する。</p> <p>○面接句間の実施(4月、9月)。3年生向けに就職公務員激励会、センター試験100日前集会を実施する。</p> <p>○難関大学支援プログラム(NSP)の充実を図る。</p>	PL: 進路指導主任 SL: 教務主任、学年主任	3	<p>○模試分析会等おおよそ計画的に実施できた。出願検討会も担任を中心によく練られた会となり短時間で終了できた。</p> <p>○生徒との個人面談を進路主導で年2回全員に実施できた。その他の期間も担任・副担任で個別面談を実施できた。</p> <p>○NSP参加生徒(1年生)の11月進研模試から1月進研模試の成績伸長は、偏差値3.96(目標2.0)で大幅に上位者が成長した。</p>	<p>○模試分析会の事前に質問項目を検討・伝達し、各教科のPDCAサイクルを充実させる。</p> <p>○面接句間、学習時間調査の検証を行い、過年度比較ができるよう日程を固定化する。</p> <p>○私立大学や専門学校への個別のオープンキャンパス参加を随時クラス掲示等でアナウンスする必要がある。</p>	<p>○引き続き、生徒のモチベーションが上がるような声かけをお願いしたい。</p> <p>○塾に行かなくても、本人のやる気があれば、志望達成できるということを卒業生が証明している。学校の様々な取組に感謝している。</p> <p>○有名大学、大企業への道が幸せのための唯一でないということを前提に、一人ひとりの生徒目線を大切にしたい。</p> <p>○生徒に「学ぶ楽しさ」を教えてほしい。生徒の「やる気を継続する力」を引き出してほしい。</p>

<p>○安全・安心な教育環境整備、人権・同和教育等の充実による豊かな心の育成</p> <p>○爽やかあいさつ、正しい日本語90%超 ○部活動入部率90%超 ○校内事故及び交通事故・交通違反0件</p>	<p>○美しい学校(きれいな教室) ○きれいな言葉と美しい身だしなみ ○笑顔で爽やかな挨拶</p>	<p>○携帯電話使用規定の周知徹底を図り、情報モラル教育講演会を年2回実施する。 ○清掃は無言で行い、校内ゴミを目標し、美しい学校とする。 ○身だしなみ検査を各学期、2回実施し、統一意識のもと美しい身だしなみを整える。 ○保護者参加のスマイルプレゼントを年内に2回実施する。 ○笑顔でさわやかな挨拶が飛び交う学校を目指す(アンケートにより検証)。</p>	<p>PL: 生徒指導主任 SL: 特別活動主任、学年主任</p>	3	<p>○生活アンケートからスマホ・携帯の使用規定を守っている生徒は96%。生徒が立ち止まって美しい姿勢で挨拶をしていると回答した生徒が87%であった。 ○ネットトラブル・情報マナー講習を2回実施した。 ○美化コンクールを2回実施した。 ○身だしなみ検査は各学年ともに自主的に強化に努め、粘り強い指導の成果がみられた。 ○列車指導及び校外指導は、定期考査の初日に実施した。 ○スマイルプレゼントを2回実施した。</p>	<p>○高校生活アンケートの変化を比較、分析しながら、生徒に学校生活の充実を図る呼びかけを行っていく。 ■多くの生徒の規範意識は基本的に問題ないが、人間関係のトラブル、SNSの利用については折に触れて指導する必要がある。また、正しい倫理観、自分の心をコントロールできる力や正しい表現力を身につけるための継続的な指導が必要である。 ■「いじめの定義」について周知して、予防指導、早期対応ができるように生徒に働きかけていく。</p>	<p>○生徒の自己確立と自立力の育成に期待します。 ○SNSの正しい使用に関しては、引き続き、学校と家庭が連携しながら、取り組んでほしい。 ○商店街では、挨拶をしてくれる生徒が減っている印象がある。こちらから声をかけないと、通り過ぎていく。 ○いじめの小さな兆候も見逃さず、早期対応してほしい。子どもが「楽しい」と言って通う学校であってほしい。</p>
		<p>○部活動の充実 ○生徒の自主性・主体性の育成</p>	<p>PL: 特別活動主任 SL: 生徒指導主任、学年主任</p>	3	<p>○部活動加入率はかろうじて90%を超えているが、徐々に部活動離れが起きているのではないかと懸念がある。(学年によって傾向が違う) ○安心安全な部活動のあり方を全職員が配慮しながら実施した結果、救急搬送される重大な案件は、なかった。 ○地域のボランティア活動は、多数の生徒が参加している。積極的な参加ができているが、参加率は72%だった。</p>	<p>○多様な価値観が容認される社会で、部活動の意義が再認識され、生徒の自主性や主体性が育成される部活動の体制を構築していく。 ○生徒が安心安全に取り組める部活動は当然のこととして、生徒・保護者・教職員が同じベクトルで進むことができる部活動の方向性を提示する。</p>	<p>○部顧問の先生方の働き方改革にも注目している。 ○地域的に、競技力の高い生徒が集まることは考えにくい。また、専門の外部指導者の確保も難しいと思われる。勝利至上主義ではなく、すべての部員が満足できる部活動の在り方が求められている。 ○部活動に係る事故防止の効果的な職員研修を引き続き実施してほしい。</p>
		<p>○安全・安心な教育環境づくりの推進、生徒の心身の健康の維持・増進</p>	<p>PL: 保健教育相談主任 SL: 人権教育主任、生徒指導主任、学年主任</p>	3	<p>○スクールカウンセラーや関係諸機関を活用し、全職員で生徒理解に努める。 ○学校生活アンケートで、いじめ、悩みの早期発見に努め、学期に一度職員会議や生徒支援委員会等で情報共有を図る。 ○美化コンクールを学期に1回実施する。学校の「整理整頓満足度」100%を目指す。 ○交通安全の集会や熱中症予防等の講演会を実施し、健康・安全意識の高揚を図る。交通事故0を目指す。</p>	<p>○スクールカウンセラーと担任との情報共有ができる体制を構築する。 ○不登校生徒認定制度の必要性等について検討する。 ○いじめアンケートなどでいじめの訴えが数件あったが、いじめ対応、スクールロイヤーの活用等、いじめを取り巻くさまざまな諸問題理解、そして解決のための研修等の必要性を感じる。 ○バイク事故、熱中症事案など大きな事故は発生していない。今後も、引き続き対策を講じていく。</p>	<p>○友人関係や進路のことにに関して、丁寧な個人面談をしていただいていると感じている。 ○すべての生徒の居場所をしっかりと確保できるよう、職員の研修の充実もお願いしたい。 ○いじめ対応の難しさも理解していますが、訴えに対しては、学校をあげて対応していただきたい。また、日頃からの生徒観察の力も養ってもらいたい。</p>
<p>○保護者・地域との連携強化による学校の魅力度アップ</p> <p>○保護者満足度90%超 ○地域満足度90%超</p>	<p>○効果的な情報発信</p>	<p>○「竹田高校NEWS」の発行および中学生への配布を継続する。中学校教員の本校に対する満足度アンケートが90%を超える。 ○学校HPや公式Facebook等の更新回数を昨年度より5%増やす。 ○報道各社及び竹田ケーブルテレビに、年間行事予定表を配布し積極的に取材を依頼する。</p>	<p>PL: 総務主任 SL: 特別活動主任、生徒指導主任、進路指導主任、学年主任</p>	3	<p>○「竹田高校NEWS」は第13号まで発行済みで、中学校に配布した。 ○学校HPやFacebook等の更新も適時実施し、2月当初現在HPは143回、FBは279回更新している。 ○行事には、新聞・TVなど報道各社、竹田ケーブルテレビ等により取材活動が行われた。</p>	<p>○「竹田高校NEWS」の発行、学校HP、Facebook等の更新を適時実施し、情報発信を継続する。 ○来年度発行数や更新数を増やすよりも、内容面の一層の充実をめざしたい。</p>	<p>○学校のHPやFacebookで、学校の様子がよくわかります。 ○竹田高校に関する記事が新聞やテレビに出るとうれしい気持ちになります。今後とも、様々な生徒に光が当たる広報をお願いしたい。</p>
		<p>○奉仕(ボランティア)活動の実施 ○地域行事への参加</p>	<p>PL: 特別活動主任 SL: 教務主任、生徒指導主任、進路指導主任、学年主任</p>	3	<p>○地域奉仕活動については、7月と11月に予定通りに実施し、参加者合計は328人であった。 ○竹楽や夏越し祭り等の地域の祭りへの参加や病院や福祉施設等における器楽部演奏や書道パフォーマンス等、竹田市を含めた地域の様々な要請に幅広く対応し協力できた。 ○地域住民による学校満足度は、88%となった。</p>	<p>○地域奉仕活動や地域からのボランティア要請については、学校の行事を考慮に入れながら、より自主的・積極的に参加できるように今後も柔軟な対応を考えていく。</p>	<p>○多くの活動に積極的に参加しているが、ほどほどにしないと、身動きが取れなくなることを心配している。実施する行事を取捨選択しながら、確かな成果をあげてほしい。</p>
		<p>○保護者、地域中学校との連携</p>	<p>PL: 総務主任 SL: 特別活動主任、進路指導主任、学年主任</p>	2	<p>○「竹田高校NEWS」の発行および中学校配布により、本校活動の広報強化に努める。 ○PTA教養セミナー「竹高館」を開催し、保護者と研修の機会を通して連携を深める。 ○学校活性化事業を活用し、中高連携研究授業の参加者の増加や中学校との引き継ぎや里帰りの内容の充実を図り、中学校との連携を深める。</p>	<p>○「竹田高校NEWS」の発行と、中学校への配布を継続する。また、PTA新聞「曉鐘」も地域中学校へ配布し、竹田高校の活動PRに努める。 ○研修会を含めPTA活動全体の見直しを進める。 ○研究授業や部活動、進路学習を通じた中高連携の核として推し進める。</p>	<p>○引き続き、中学校への広報活動を続けてほしい。 ○大雨等の時の素早い対応と情報発信をお願いしたい。 ○竹田市にとって、竹田高校の存在は、地域の活力創出の源と言える。今後とも、地域とともに前進してほしい。</p>

<p>総合評価 次年度への展望等</p>	<p>○地域の高校魅力化・特色化推進事業を活用し、地域と連携した探究的な学び等、特色ある総合的な学習の時間の取組を行うことができた。 ○外部講師を招聘した公開授業や授業研究会等を計画的に実施し、授業改善や授業力向上への取組を推進した。 ○命・健康・人権を重視した指導を徹底し、部活動等の安全対策や不登校生徒の支援体制づくりを進めることができた。 ■一人一人の能力や適性に応じて、個別最適化された学びの実現に向けて、ポートフォリオ等を活用しながら、個々人の学習傾向や活動状況の把握に努める。 ■生活面(特に時間厳守や清掃、挨拶)改善のための取り組みをさらに徹底する必要がある。</p>
--------------------------	---